

⑦ マルビバ (鳥取市)

遊び場や学び場など、子どもがさまざまな経験ができる「〇び場」を提供したいという思いから、高校生2人が2024年1月に設立した。鳥取市内のイベントを中心に、出向いて輪投げやくじなどが楽しめる縁日ブースを出店する。学生と子ども、地域をつなぐことを目指して活動に励む。

公園での遊びの制限が厳しくなり、世代を超えた交流の場も減っていることを課題と考えていた小谷峻一



子どもと地域つなぐ「〇び場」



鳥取市内のイベントを中心に縁日ブースを出店するマルビバ

代表(19)ら2人が高校時代には得点計算する工夫をに立ち上げた。現在は進学先の大学や専門学校の学生、高校生など16人で活動する。昨年開かれた青谷音楽祭や貝がら祭り、鳥取県立美術館のオープニングイベントなど、総出店回数は約1年半で37回に上る。

自作の釣りゲームは獲物となる魚のイラストの裏に名前を書き込んだり、輪投げなど、総出店回数も教えている。

地域を元気にするための県内の優れた地域づくり活動を表彰する「令和6年度ミラ・クル・とっとり運動・SDGs活動表彰」の学生部門(大学生の部)で優秀賞を受賞した。

小谷代表は活動の充実に意欲を燃やし「農業や自然、鳥取の魅力を体験してもらえるコンテンツの提供や、同じ方向性で活動する団体との協力や支援などにも取り組んでいきたい」と展望を語る。